

今年の「ハロウィーン」は昨年より盛り上がる？ 2016年の動向を調査

**「ハロウィーン」行事の参加予定者は
前年参加実績があると回答した19%を上回る23%
「ハロウィーン」での仮装については、肯定派が過半数**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、「ハロウィーン」時期の飲食行動や仮装の普及などに関する意識についてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

要約**POINT① 今年の「ハロウィーン」行事の参加予定者は23%
前年実績19%を上回る** . . . P3-4

- 2016年の「ハロウィーン」行事（飲食、パーティー、イベント）に参加予定だと回答した人は23%。参加予定者のうち、20代女性の参加予定率が最多で35%だった。
- 前年、「ハロウィーン」行事に参加した人は19%。2016年の参加予定が前年の参加実績を上回った。
- 参加予定行事の人気1位は「飲酒主体の店での飲食、パーティー」（11%）。

POINT② 前年「ハロウィーン」行事に仮装して参加した人は36% . . . P5

- 前年の「仮装派」は参加者中36%とまだ少数派。
- 他より仮装の割合が多かったのは30代女性。過半数の51%が仮装して参加。

POINT③ 「ハロウィーン」の仮装肯定派が過半数も、前年比ではやや減少 . . . P6-8

- 「ハロウィーン」習慣の普及には67%が賛成（前年71%）、「仮装」には60%が賛成（前年65%）、いずれも賛成が反対を上回る。
- 賛成理由のトップ3は「本来の意味でなくても日本風を楽しめばよい」（47%）、「はめを外す機会としてよい」（40%）、「自分は仮装しないが楽しくてよい」（36%）。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2016年8月度)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、ハロウィーンに関連した飲食・パーティー・イベントの参加状況や参加意向、仮装経験、ハロウィーンに対する考え方などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2016年7月22日(金)~2016年8月1日(月)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 333,737 件
- ⑥回収数 36,309 件
- ⑦本調査対象者数 16,432 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくするために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル について、平成26年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

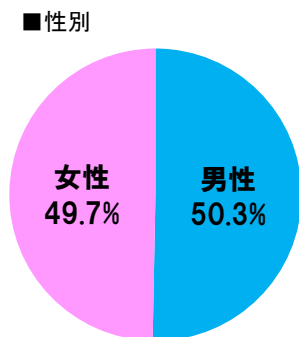
■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2016年9月1日(木)~2016年9月7日(水)
- ③配信数 13,495 件
- ④回収数 10,293 件 (回収率 76.3 %)
- ⑤有効回答数 10,207 件 (首都圏 5,179 件、関西圏 2,675 件、東海圏 2,353 件)

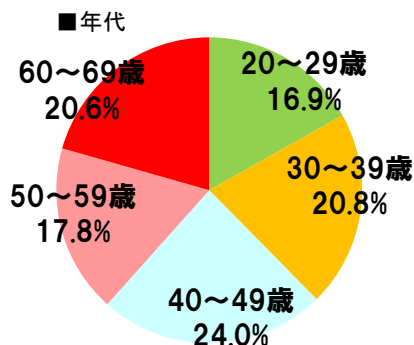
※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成26年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,207 件(首都圏: 5,800 件、関西圏: 2,845 件、東海圏: 1,562 件)

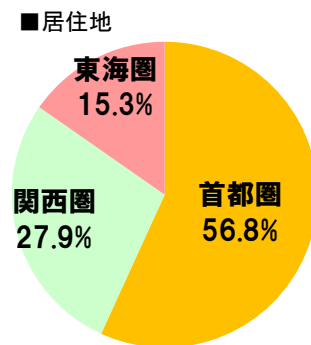
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



n=10,207



n=10,207

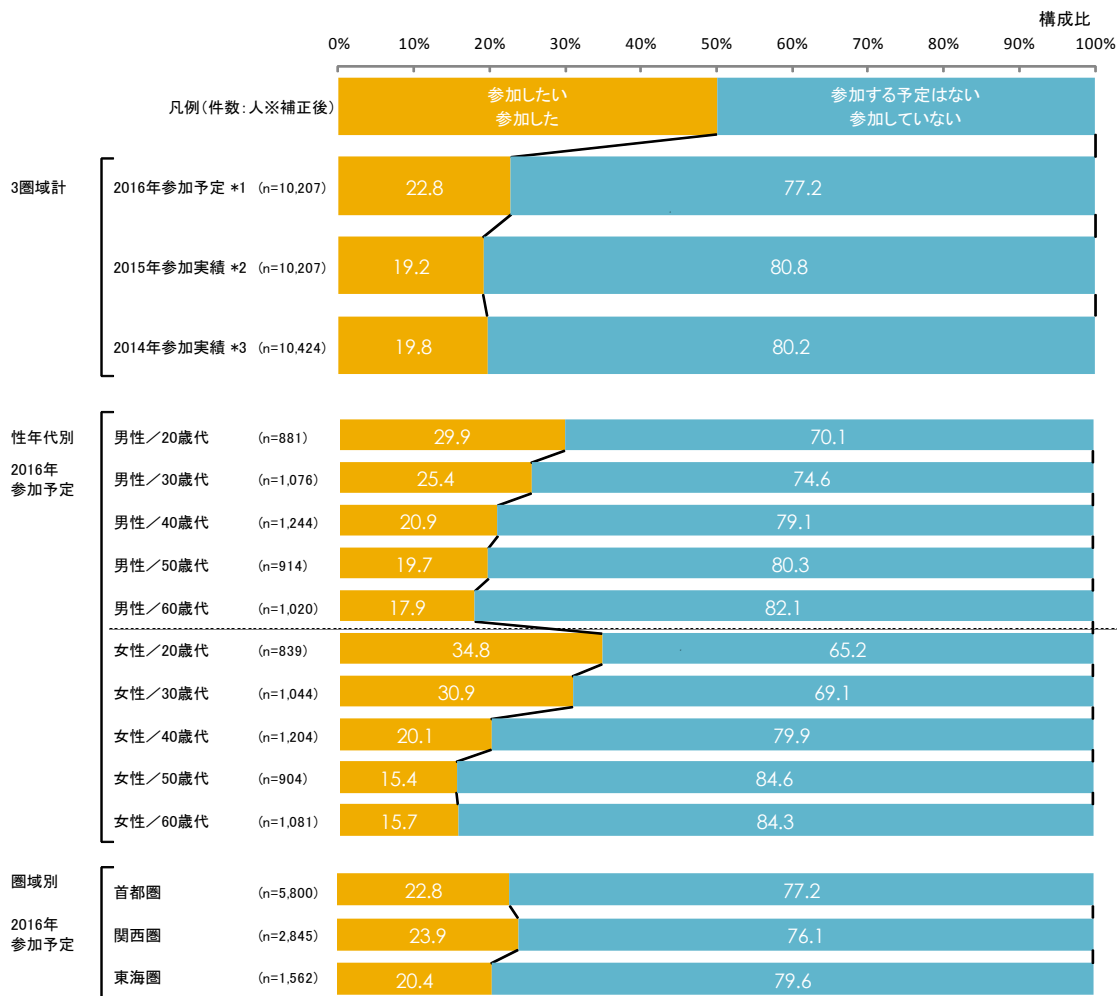


n=10,207

1. 2016年「ハロウィーン」行事参加予定者は23%、前年参加実績を上回る。 20代女性・30代女性は30%超え。圏域別では関西で参加予定者が多い

年々、仮装やコスプレ習慣を伴って盛り上がってきている「ハロウィーン」。2016年の参加予定については3圏域計で22.8%と前年の参加実績19.2%を上回った。特に、20代女性が34.8%、30代女性が30.9%で参加予定者が多い結果となった。圏域別では、関西圏で23.9%と他の圏域よりも参加予定者の割合が高めであった。

■ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントについて、今年の参加予定（全体／単一回答）



*1 *2 2016年調査で聴取

*3 2015年調査で聴取

※「参加したい」：『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加しようと思っているもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人を集計

※「参加した」：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけたもの」「企画はしていないが参加したもの」で、いずれかのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人を集計

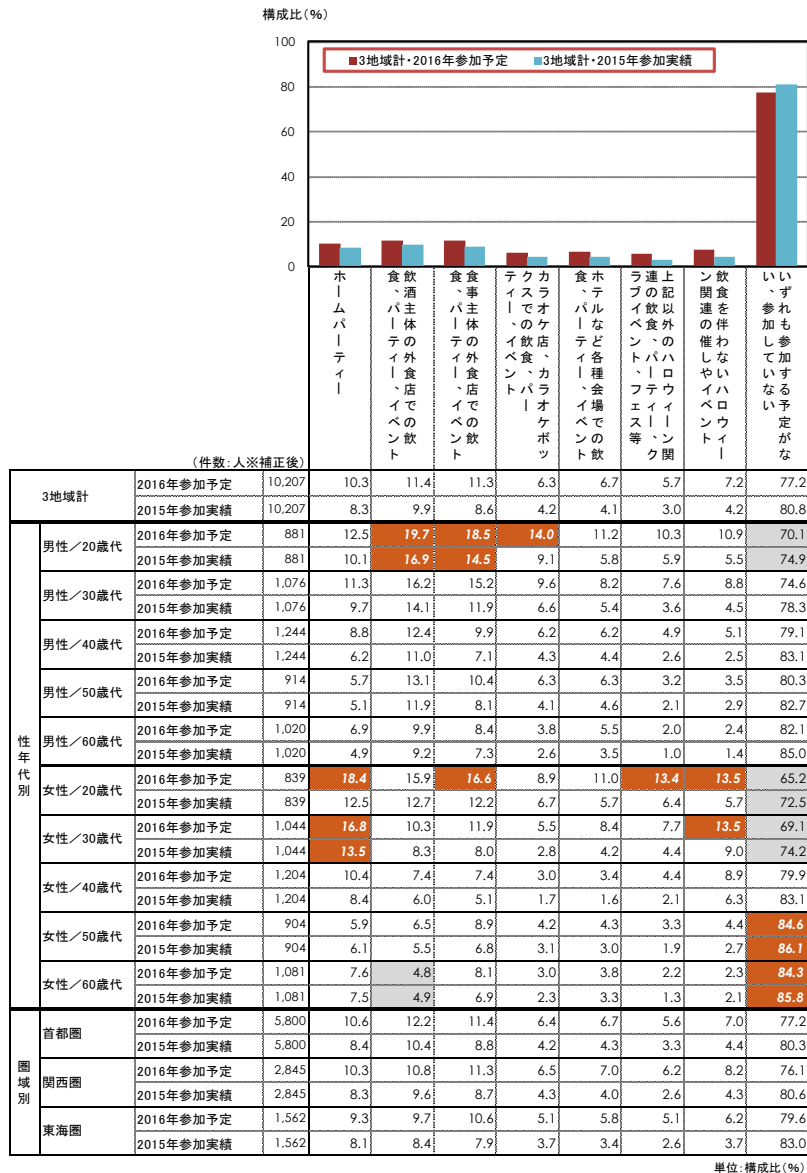
※「参加の予定はない」：『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加しようと思っているもの」とともに「参加の予定はない」と回答した人を集計

※「参加していない」：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけたもの」「企画はしていないが参加したもの」とともに「参加していない」と回答した人を集計

2. 参加予定の行事、人気1位は「飲酒主体の店での飲食、パーティー、イベント」（11%）

どのような内容の「ハロウィーン」行事へ参加予定があるかという設問に対しては、「飲酒主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」が最多の11.4%、2位に「食事主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」が11.3%とほぼ同程度の回答を集めた。3位に「ホームパーティー」が10.3%の参加予定であった。性年代別には、20代女性・30代女性で「ホームパーティー」「飲食を伴わないハロウィーン関連の催しやイベント」への参加予定が多いのに比べ、20代男性では「飲酒主体の外食店での飲食、パーティー、イベント」「カラオケ店、カラオケボックスでの飲食、パーティー、イベント」への参加予定が多いなど、男女間での差も見られた。

■ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントについて、前年の参加実績と今年の参加予定<パーティ・イベントの詳細>（全体／複数回答）



※2015年参加実績：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしたもの」「企画はしていないが参加したもの」で、それぞれのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人を集計

※2016年参加予定：『今年参加したいハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしようと思っているもの」「企画はしないが参加しようと思っているもの」で、それぞれのパーティー、イベントに「参加したい」と回答した人を集計

赤字 3地域計より5ポイント以上高い項目

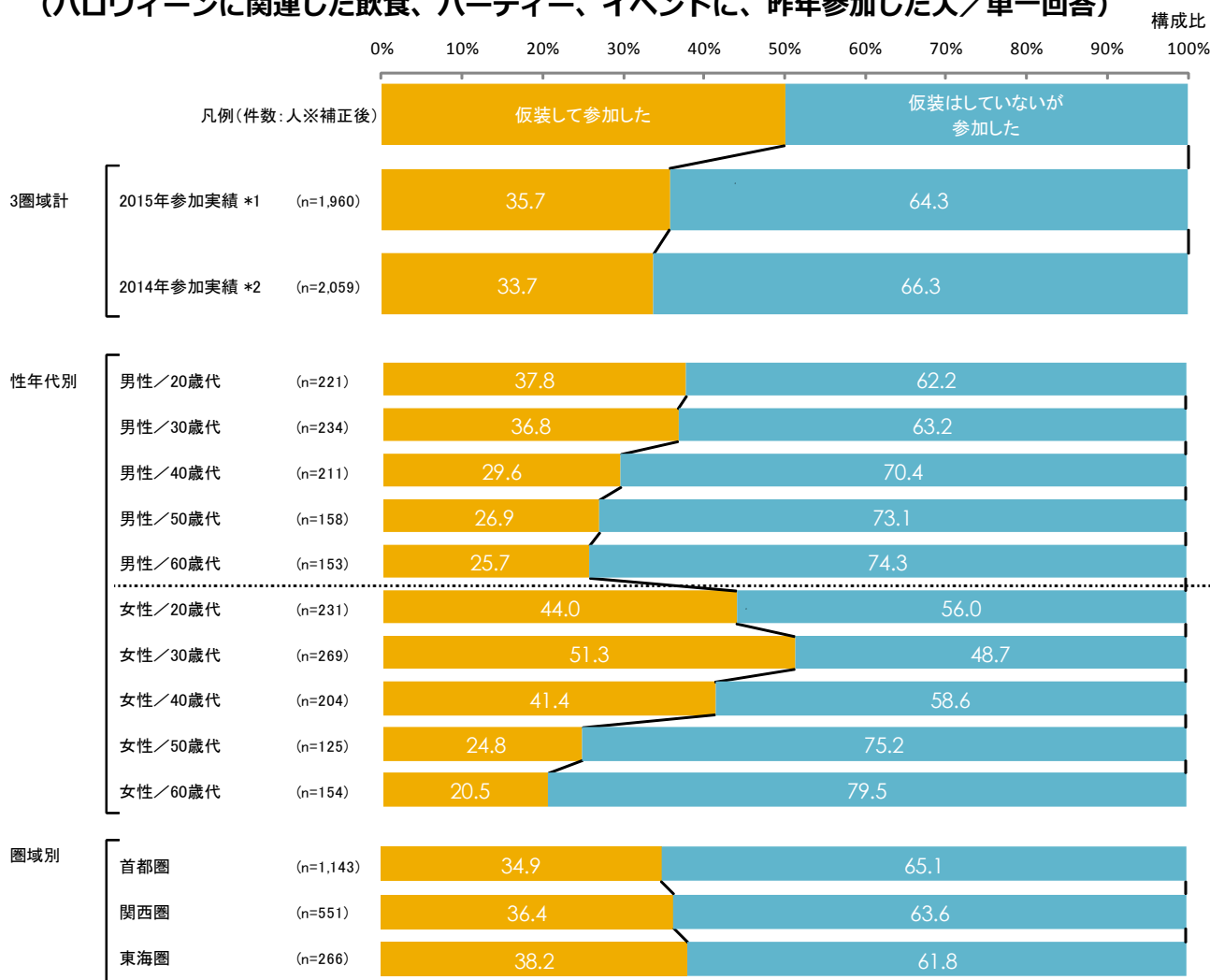
灰色 3地域計より5ポイント以上低い項目

※全て2016年調査で聴取

3. 前年の「ハロウィーン」行事に、仮装して参加した人は36%と微増したがまだ少数派 30代女性では、半数以上が仮装で参加

前年の「ハロウィーン」行事における仮装の状況については、全体で19.2%だった参加者（P3）のうち、仮装で参加した人は35.7%とまだ少数派であった（前年33.7%）。性年代別で見ると、30代女性では、過半数の51.3%が仮装で参加しており、他より割合が高い。圏域別では東海圏の仮装率が38.2%と、3圏域中で最も高かった。

■ 昨年のハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントに、仮装して参加した割合 (ハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントに、昨年参加した人/単一回答)



*1 2016年調査で聴取

*2 2015年調査で聴取

※「仮装して参加した」：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベントのうち、仮装して参加したもので、いずれかのパーティー、イベントに「仮装して参加した」と回答した人を集計

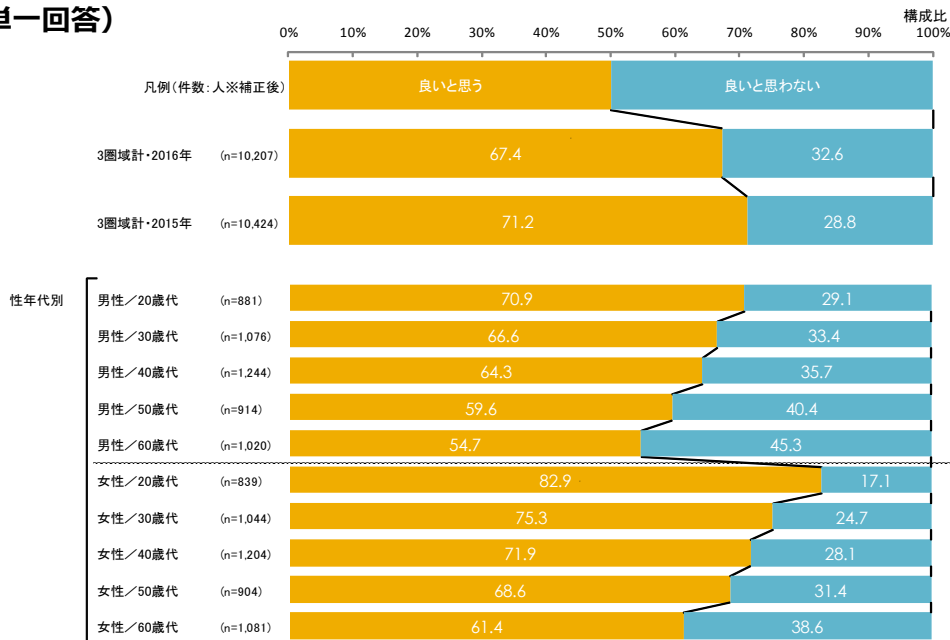
※「仮装はしていないが参加した」：『昨年参加したハロウィーンに関連した飲食、パーティー、イベント』の「自分が企画・呼びかけしたもの」「企画はしていないが参加したもので、いずれかのパーティー、イベントに「参加した」と回答した人から、「仮装して参加した」と回答した人を除いて集計

※自分自身は仮装していても、子供が仮装して参加した場合は「仮装して参加した」に含む

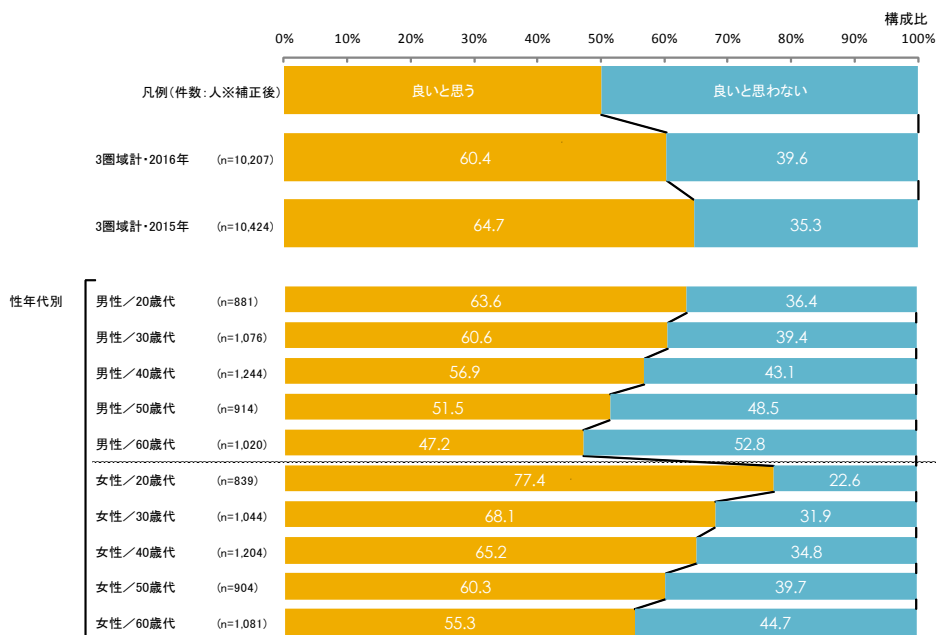
4. 「ハロウィーン」での仮装肯定派が過半数も、前年比ではやや減少

日本での「ハロウィーン」の普及と仮装の是非について良い/良くないの2択で質問。結果、普及については67.4%、仮装については60.4%が「良いと思う」と回答。肯定派が否定派を上回ったが、前年に比べると両設問とも「良いと思わない」がやや増加している。年代別には、若い年代ほど肯定派が多い。

■ 「ハロウィーン」についての考え/日本で祝ったり、広まったりすることについて (全体/単一回答)



■ 「ハロウィーン」についての考え/仮装することについて (全体/単一回答)

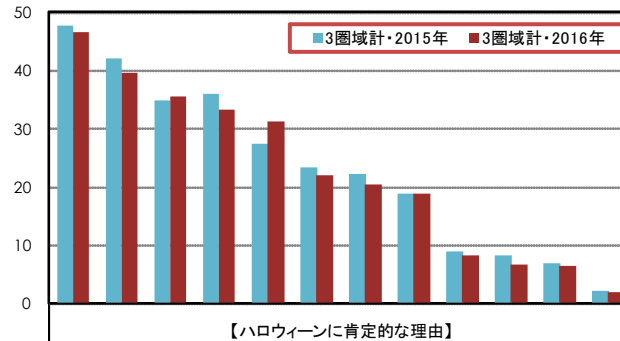


5. 「本来の意味と違って日本風に楽しめばよい」47%

「ハロウィーン」を肯定する理由は、「日本風に楽しめばよい」が46.6%で最多、2番目に「たまにはめを外す機会」が39.5%、さらに「自分は仮装しないが、楽しくてよい」35.6%が、トップ3であった。「日本風に楽しめばよい」は50代男女・60代男女で多く、20代男性では「はめを外す機会」が多い。20代女性では「はめを外す機会」以外に「経済効果」「飾り付けが楽しい」「若者のためのお祭りとして」「積極的に仮装したい」などが他の性年代よりも高く、積極的な参加予定の裏側にある肯定的な心理がうかがえる。

■ 「ハロウィーンについての考え」の理由<日本で祝ったり、広まったりすることについて「良いと思う」かつ、仮装することについて「良いと思う」と回答した人>（複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

	件数	本来の意味と違って日本風 に楽しめばよい	たまにはめを外す機会 としてよい	自分は仮装しないが、 楽しくてよい	子供のためのお祭り としてよい	経済効果がある	懇親の機会として有 効だと思う	飾り付けなどが楽し い	若者のためのお祭り としてよい	男女の出合いの場と してよい	積極的に仮装して参 加してみたい	大人のためのお祭り としてよい	その他の肯定的な理 由	
3圏域計・2016年	5,917	46.6	39.5	35.6	33.3	31.2	22.1	20.4	18.8	8.3	6.7	6.5	1.8	
3圏域計・2015年	6,497	47.7	42.0	34.9	36.0	27.4	23.4	22.2	18.8	8.9	8.2	6.9	2.2	
性年代別	男性/20歳代	542	33.4	55.8	25.2	11.4	32.1	18.7	12.3	14.1	18.2	8.6	7.9	1.4
	男性/30歳代	625	42.6	46.4	29.0	25.3	33.6	22.0	13.6	17.1	12.8	9.4	8.1	2.2
	男性/40歳代	676	44.6	44.0	32.0	28.3	30.8	23.6	11.4	18.4	11.0	4.0	5.7	2.4
	男性/50歳代	450	52.3	42.1	32.6	26.7	25.6	25.7	14.5	22.5	10.8	4.7	7.5	1.2
	男性/60歳代	460	61.4	33.7	38.6	37.3	22.4	26.1	11.9	24.0	6.5	3.4	4.3	3.0
	女性/20歳代	618	40.7	48.1	31.9	27.7	38.9	19.6	32.0	23.8	8.7	14.7	9.5	2.2
	女性/30歳代	685	40.3	38.3	36.7	46.0	29.9	22.4	27.2	13.2	5.0	7.9	6.7	1.5
	女性/40歳代	764	46.8	32.0	42.6	43.6	31.1	18.7	27.5	14.3	4.0	3.9	5.4	1.2
	女性/50歳代	530	55.0	27.3	43.8	35.7	35.3	22.0	24.9	19.7	2.5	4.2	4.8	1.5
	女性/60歳代	567	55.2	26.8	42.6	45.6	29.7	24.2	23.5	25.5	4.5	5.2	4.5	2.0
圏域別	首都圏	3,351	45.2	37.9	36.0	34.0	31.7	22.2	20.9	18.7	8.4	6.2	6.3	1.7
	関西圏	1,618	48.8	41.7	37.1	34.5	30.7	22.5	20.8	19.9	7.9	7.1	6.6	2.0
	東海圏	948	47.8	41.2	31.5	28.9	30.6	20.9	18.0	17.6	8.4	7.7	6.8	1.8

※2016年の多い順にソート

単位:構成比(%)

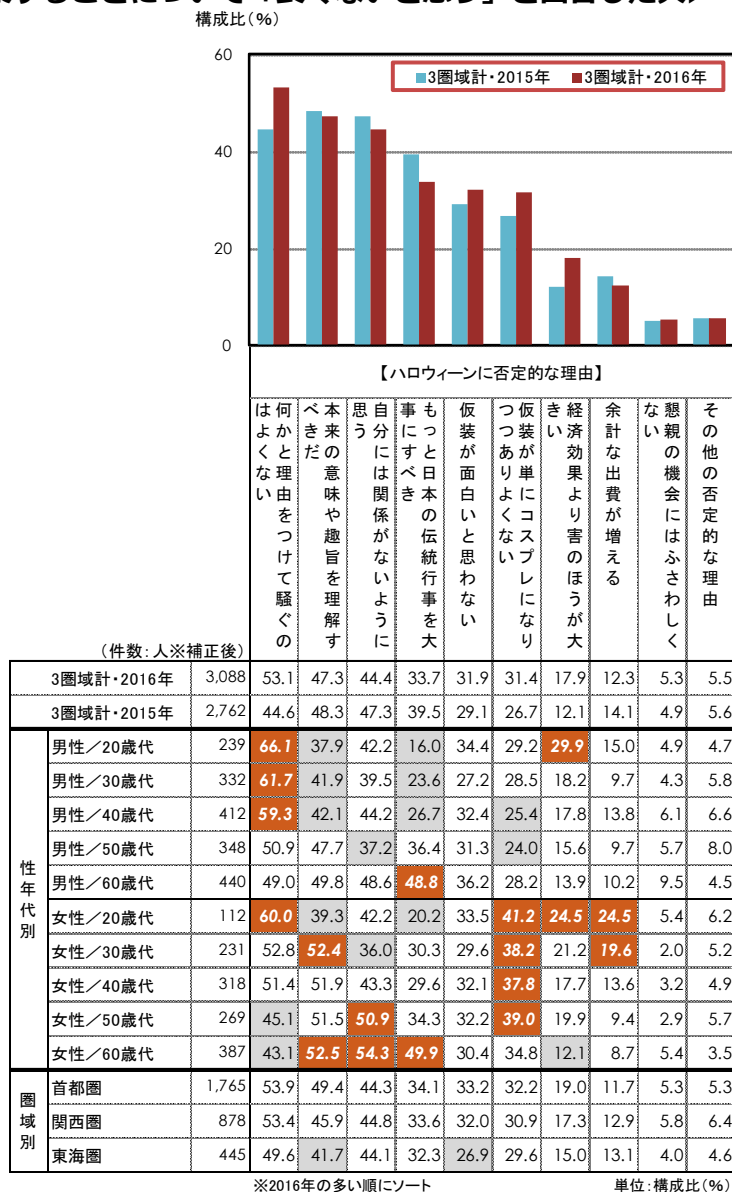
赤字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

灰色 3圏域計より5ポイント以上低い項目

6. 否定派の理由は、男性「理由をつけて騒ぐのはよくない」。女性「単なるコスプレ」

「ハロウィーン」を否定する理由は、「何かと理由をつけて騒ぐのはよくない」が53.1%で最多、2番目に「本来の意味や趣旨を理解すべきだ」が47.3%、さらに「自分には関係がないように思う」44.4%がトップ3であった。男性では「何かと理由をつけて騒ぐのはよくない」と「ハロウィーン」が流行していることの裏返しともとれる意見が多く、女性では、「仮装が単にコスプレになりつつありよくない」と楽しみ方、コンテンツのレベルに対する問題提起的理由が多いなど、男女で否定理由には、差があるように見える。

■ 「ハロウィーンについての考え」の理由<日本で祝ったり、広まったりすることについて「良くないと思う」かつ、仮装することについて「良くないと思う」と回答した人>（複数回答）



※2016年の多い順にソート

単位:構成比(%)

赤字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

灰色 3圏域計より5ポイント以上低い項目